

プラスチック材質について

廃環境への影響

- ✓ ギャスケット製品に使用されているプラスチックは、廃時に環境に影響を及ぼしません。
- ✓ 廃分場の空気中、土、水に影響を及ぼさずに埋め立て処理ができます。
- ✓ PS, PP, PC, PEは処理の度を一定に保つだけでなく、燃料の無駄を極力省き廃分場での処理の際には有害物質の発生を抑えることができます。

	Polystyrol	Polypropylen	Polycarbonat	Polyethylen
略称	PS	PP	PC	HD-PE High Density LD-PE Low Density
光学的特性	透明 表面光沢有 90%の透過性 (400 – 800nm)	半透明 表面光沢有	透明 88%の透過性 (400 – 800 nm)	不透明 乳白色
機械的性質	絶縁性が高い 引っ張り強度が高い 高熱に強い 強い遠心には不適	耐衝撃性が高い 引っ張り強度が低い 高い剛性	機械的、光学的、電的、熱に耐えてハイレベルのパフォーマンスで、オートクレーブとγ線に耐性あり	粘着性があり比較的柔らかく、クラック耐性あり 撥水性あり
オートクレーブ	不可	121°C、20min以下 ^{*3}	121°C、20min以下 ^{*3}	不可
短時間での最高使用温度 ^{*1}	60 – 70°C	100 – 110°C	115 – 125°C	HD-PE 70 – 80°C LD-PE 60 – 75°C
短時間での最高使用温度 ^{*1}	75 – 80°C	120 – 140°C	125 – 140°C	HD-PE 90 – 120°C LD-PE 80 – 90°C
0°C以下での使用 ^{*2}	不適	件による ^{*1}	-80°Cまで	件による ^{*1}
比重 g/cm ³	1,05	0,90	1,19	HD-PE 0,95 LD-PE 0,92
可燃性	可燃	可燃	可燃	可燃
着火温度 ^{*1}	300 – 400°C	300 – 360°C	380 – 450°C	350 – 360°C
吸水率	< 0,1%	< 0,1%	0,1 - 0,3%	< 0,1%
耐薬品性	非酸化性の酸、アルカリ、アルコール、塩溶液に耐性がある 燃料、エーテル、酸化剤と芳香剤を使用すると、クラックが発生する	60°Cまでの無機塩、酸、有機溶剤などの水溶液に耐性があり、アルコール、エステルおよびケトンも同様である。 芳香族、ハロゲン化二酸化炭素、濃硝酸、高脂肪などの酸化剤、オイル、ワックスを使用するとたわみが発生する	高濃度の無機酸、多くの有機酸（例：カルボン酸、オレイン酸、クエン酸など）の酸化および還元、中性または酸性生理食塩水、油脂、飽和脂肪族、脂環式炭化水素とメタノールを除くアルコールに耐性がある PCはアルカリ溶液、アンモニアガス、及びアミンによって破られる PCは産業溶媒の多くに可溶であり、ベンゼン、アセトン、四塩化炭素などの他の有機化合物を使用すると膨潤する	HD-PEの耐薬品性は、一般的にLD-PEよりも高い 水溶液、浸出液、アルコール、油だけでなく、水と塩の溶液にも耐性がある 硝酸およびハロゲンの濃縮された酸化剤には分解がある
廃棄	純炭化水素化合物であり、処理時にも有害物質を排出しない	純炭化水素化合物であり、処理時にも有害物質を排出しない	純炭化水素化合物であり、処理件を整えれば、有害物質を排出しない	純炭化水素化合物であり、処理時にも有害物質を排出しない

^{*1} プラスチック材料の特性に準ずる
^{*2} 注意：プラスチックは0°C以下になると、衝撃に脆くなります。氷点下で使用する場合には、製品サンプルを用いてお試しください。
^{*3} ただし、オートクレーブは製品に何らかの影響を及ぼすことがあります。
 使用前にお客自身でテストされることをおすすめします。また、スクリーンキャップ容器の場合、キャップを少しゆるめてください。

この表はガイドラインとして示したものであり、品質として保証するものではありません。